平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	研究ゼミナールA(Seminar of Study A)			授業コード	C172412
担当教員名	島岡　成治			科目ナンバリングコード	L31204
配当学年	3	開講期	前期		
必修・選択区分	選択必修	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	特にありません。				
受講心得	自主的な学習に意欲的に取り組むことが大切です。また、何を自分の職務とするか、自身の人生の目標を見定めながら研究室を選択し、それぞれの課題に取り組んでください。				
教科書	特にありません。				
参考文献及び指定図書	適宜指示します。				
関連科目	専門分野に関連する全科目				

授業の目的	研究ゼミナールAでは、自分のもっとも興味のある建築分野におけるテーマを設定し、指導教員のもとで、卒業研究につながる基礎的な学習や卒業研究を作成するために必要な技術を習得します。 また、指導教員と対話しながら研究テーマについて深く学ぶことができる絶好のチャンスでもあります。それぞれの専門分野に対する理解を深めるためにも積極的に取り組むことが大切です。
授業の概要	卒業研究につながる調査や見学、文献やビデオ教材、CADソフト等による専門分野の学習や作品制作、あるいはそれらのための様々な準備など行います。各自がそれぞれのテーマを設定しますが、他の学生や上級生である卒業研究生や大学院生らと協力して自主的に研究活動をいます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : テーマ設定 個人またはグループで取り組むべきテーマを設定します。また、次回以降のプレゼンテーションの順番を決めます。	文献調査、実地調査、プレゼンテーション資料の作成等
第 2 週 : プレゼンテーションと討論会 プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。	文献調査、実地調査、プレゼンテーション資料の作成等
第 3 週 : プレゼンテーションと討論会 プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。	文献調査、実地調査、プレゼンテーション資料の作成等
第 4 週 : プレゼンテーションと討論会 プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。	文献調査、実地調査、プレゼンテーション資料の作成等
第 5 週 : プレゼンテーションと討論会 プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。	文献調査、実地調査、プレゼンテーション資料の作成等
第 6 週 : プレゼンテーションと討論会 プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。	文献調査、実地調査、プレゼンテーション資料の作成等
第 7 週 : プレゼンテーションと討論会 プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。	文献調査、実地調査、プレゼンテーション資料の作成等
第 8 週 : プレゼンテーションと討論会	

プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。	文献調査、実地調査、プレゼンテーション資料の作成等
第 9 週 : プレゼンテーションと討論会 プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。	文献調査、実地調査、プレゼンテーション資料の作成等
第10週 : プレゼンテーションと討論会 プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。	文献調査、実地調査、プレゼンテーション資料の作成等
第11週 : プレゼンテーションと討論会 プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。	文献調査、実地調査、プレゼンテーション資料の作成等
第12週 : プレゼンテーションと討論会 プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。	文献調査、実地調査、プレゼンテーション資料の作成等
第13週 : プレゼンテーションと討論会 プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。	文献調査、実地調査、プレゼンテーション資料の作成等
第14週 : プレゼンテーションと討論会 プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。	文献調査、実地調査、プレゼンテーション資料の作成等
第15週 : プレゼンテーションと討論会 最終プレゼンテーションと討論会を行います。	研究報告書もしくは作品の完成
第16週 : 期末試験 試験は行いません。	研究報告書または作品の提出

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①建築・インテリアに関し興味を抱いているテーマの研究に主体的に取り組むことができる。
【知識・理解】	②取り組んだテーマに関する基本知識を身につけ、さらに専門的な知識や考え方を深めていくことができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	③調査研究した内容を適切にプレゼンテーションする能力を身につける。 ④プレゼンテーションされた内容を理解し、自分の意見を言うことができる。
【思考・判断・創造】	⑤取り組んだテーマにおいて明らかになる諸問題に対し自分の考えをもつことができる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			15点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		25点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		25点	10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		25点		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	提出することが最低条件です。その内容については、単位を修得するために達成すべき到達目標に対し、以下の達成水準を目安とします。 S：よく満たしている。 A：ほぼ満たしている。 B：一応満たしている。 C：一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	毎回の討論会に積極的に出席することが最低条件です。その時の積極的な発言、優れた内容の発言は記録して加点することがあります。